

■学校経営のポイント

新型コロナウイルスを念頭に置いた新年度のスタート

小島 宏

新年度に当たり、文科省は「通知」(令和2年3月24日)で学校における教育活動再開の指針を示した。これを踏まえ、新年度の教育活動を適切に構想し、実施したい。

感染防止策の徹底

「通知」では、感染防止のための3条件(換気の悪い密閉空間、手の届くところに多くの人がいる、近距離での会話や発声)の排除を求めている。そこで、学校生活や学習活動、部活動などにおいては、このことに配慮して子どもや教職員への感染防止に努める。

なお、具体的な対策を構築し、実施するに当たっては、学校再開の指針に示された留意点(感染防止、学習の遅れへの対応、学校行事の開催、部活動、給食、学童クラブ等)及び学校再開ガイドライン(10項目のチェックリスト)等を確認し、的確に進めるようとする。

簡便な学校評価の実施

新年度の学校経営と教育活動のスタートに当たっては、緊急事態に直面していることを十分に配慮する。そこで、通常の学校評価と臨時休校中の評価については、「うまくいっていること」「問題点と改善策」「新しく取り入れたいこと」を簡便に行なうことが実際的である。

校長の学校経営方針の周知

さて、新年度当初に校長は、学校経営方針(学校経営案)を教職員や保護者などに示す必要がある。

その際、感染防止に関連する事柄についても基本的な考えを盛り込むようにしたい。

そして、学年・学級経営案、保健室や教育相談室の運営案、事務・用務・給食に関わる執務の方針などの策定に反映させるようにする。

●希代の校長5人に聞く、校長のなすべきこと《好評発売中！》

校長の覚悟 一木村泰子 西郷孝彦 住田昌治 小高美恵子 新保元康

【著】「教職研修」編集部 四六判／定価(本体 2,000 円) + 税

■研修誌・図書の小社への直接のお申込みは、小社HP <http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp>をご利用ください。

教育課程の編成

令和2年度の教育課程の編成に当たっても、質の高い教育活動を実施するために、教育課程の届け出、年間学校行事計画、道徳教育などの全体計画、各教科等の年間指導計画、生徒指導や安全指導等の年間指導計画などを作成する。その際も、感染防止に関連する事項を無理なく盛り込むようにする。

補習と授業時数の調整

臨時休校によって、指導内容の欠落や授業時数の不足が生じている。このことについては、各教育委員会の方針に沿って肅々と対応していく。

その際、短期間に解決しようとせず、長い見通しをもって無理なく補習を進めていくようにする。

また、授業時数の調整についても、単なる数合わせに陥ることなく、長期的展望に立ち、子どもの学校生活のリズムや負担感に配慮する必要がある。

保護者・地域の理解と協力

感染防止策や新年度の方針などについては、保護者・地域にも公開し、協力・連携していくことが大切である。特に、始業式や入学式、学校行事などの実施内容と方法については、事前の連絡によって理解を求めておくことが必要である。

校長のリーダーシップ

校長はリーダーシップを発揮して、感染防止を含めて子どもの学校生活と学習活動の危機管理に最善を尽くすとともに、教職員の働き方改革にも意を用いることが肝要である。

このような難しい社会状況の中であるが、子どもには愛情、教職員には感謝、保護者・地域は寛容の心で、前向きに学校経営に当たりたいものである。

(こじま・ひろし=元東京都公立小学校長・(公財)豊島修練会理事長)

